

趣 意 書

少林寺拳法は、1947年（昭和22年）、宗道臣（1911～1980年）によって人づくりの「行」として日本で創始されました。

敗戦後の混沌とした世相の中で、創始者 宗道臣は、次代を担う若者たちに「自己確立」「自他共楽」の教えを説きながら「人づくり」による「国づくり」を目指しました。

少林寺拳法は、人と共に生きるための「本当の強さと優しさ」を身につける道として多くの人々の共感を得、現在では日本を含む世界40ヶ国、活動拳士数は約200,000名までにその輪を広げております。

一部の身勝手な人々の言動からなる事件や事故など、暗い報道が目立つ今日、私たちは「半ばは自己の幸せを半ばは他人の幸せを」と説かれた宗道臣の教えを継承し、自分のことだけでなく、他人のことも考えられる人間を一人でも多く育成するべく、活動を展開しております。

一般財団法人 少林寺拳法連盟・全国中学校少林寺拳法連盟では、これからの社会を担う若い力の育成と全国で少林寺拳法を修練する中学生達の交流を目的に、「第17回全国中学生少林寺拳法大会」を2023年8月18日～20日、新潟県新潟市において「煌星 ～輝きをトキ放て～」のテーマのもと開催いたします。

本大会で相手と互いに協力しながら、自己の最善を尽くして演武に取り組むことが、明るく豊かな学校生活を営む態度の育成に寄与することを確認いたしております。

そして、全国の中学生拳士が一堂に会し、日頃の修練の成果を発表するとともに、全国の仲間との絆を深めて、少林寺拳法の輪をさらに広げていきたいと思っております。

つきましては、日頃から少林寺拳法に対してご厚情をいただいております皆様方に本大会の趣旨をご理解いただき、物心両面にわたるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2023年 4月吉日

第17回全国中学生少林寺拳法大会

大会会長 吉田 晋



実行委員長 夏川 伸也

